

## Q 部活動は盛んですか？

A 部活動と勉強との両立は高校生にとって難しい課題です。しかし、城東高校では全校生徒の90%以上が何らかの部・同好会(合わせて32ある)に所属しており、朝・放課後・休日と意欲的に活動しています。日頃の短い練習時間を集中力と練習メニューの工夫、合宿などでカバーし、対外試合やコンクールなどで優秀な成績を収めています。平成29年度の主な成績は次の通りです。

文化部では、合唱部、管弦楽部、ESS部、ダンス部、書道部、写真部が全国大会、音楽学類からはピアノやヴァイオリンなどで多数の生徒が、また、個人では小倉百人一首かるた部門の全国大会へ出場し、好成績を収めています。平成30年5月現在、個人でブレイクダンスの世界大会に出場し、好成績を収めた生徒もいます。

運動部では、テニス部、陸上競技部がインターハイに出場し、インラインスケートは世界大会に2名出場しました。中国大会へは多くの部が出場しました。

この他にも、多くの部が毎日熱心に練習に励み、県大会で優秀な成績を収めています。

このように城東高校では、多くの部および個人が試合やコンクールで活躍するとともに、「文武両道の城東」を目指して日々活気ある活動を行っています。

## Q 翠緑祭の他にはどのような学校行事がありますか？

A 1年次では、5月上旬に2泊3日の宿泊研修が行われます。クラスの連帯を強め、主体的に物事に取り組む城東生となることを目指してクラス討議や合唱コンクール・カッター訓練などの活動を行います。

また、1年次の夏休みには海外文化体験研修が行われています。平成30年度はオーストラリア(プリズベン)とカナダ(バンクーバー)コースに分かれ、実施されます。現地ではホームステイをし、語学研修とともに貴重な異文化体験ができます。2年次では、学類研修があります。それについてはpp.11-12で詳しく説明しています。

その他の特色ある学校行事としては、生徒主体で開催する球技大会や書華美展、秋のウォーキング(1年次)、弁論大会(1・2年次)、百人一首大会(1年次)などがあります。また、学類の特色を生かして、国際教養学類の生徒が当日の進行を担当する城東高校杯中学生英語スピーチコンテストや英語集中合宿(閑谷学校で1泊2日)、音楽学類と吹奏楽部・管弦楽部・合唱部による定期演奏会(12月下旬、岡山シンフォニーホール)があります。年間を通じてたびたび行われる中庭コンサートや書道部のパフォーマンスは、生徒全員が楽しみにしています。城東高校のホームページのブログで、いろいろな行事を紹介していますので、ぜひご覧ください。

## 学類について

### Q 学類とは何ですか？

A 2・3年次における、進路や系統に沿った選択科目群、およびそれを選択した生徒の集まりのことを指します。本校では「人文社会学類」「国際教養学類」「音楽学類」「理数学類」の4つの学類があります。

### Q 学類は自由に選べるのですか？

A 一般入試、および海外帰国生徒入試で合格した人は自由に選ぶことができます。1年次に自分の適性をよく考え、2年次になる時に進路に応じた学類を選ぶことができます。ただし、特別入試で「国際教養分野」で合格した人は国際教養学類に、「音楽分野」で合格した人は音楽学類に所属することになります。ですから特別入試を受検する場合は、それぞれの学類の特長を生かした進路を考えておくことが大切です。

## 学類研修について

### Q 城東高校では修学旅行でなく学類研修が行われていると聞きましたが、その内容を教えてください。

A 学類での専門的な学びをグローバルな視野を育む体験を通して深める目的で実施しています。平成30年度の研修地は人文社会学類と理数学類は東京とマレーシアから選択、国際教養学類と音楽学類は台湾、という予定です。海外のコースでは現地の高校生との交流や合同の研修、大学での研修のほか、クアラルンプール市内などでの自主研修を行います。国内のコースでは、文化・自然体験や留学生との交流、大学や研究所での研修や班ごとの自主研修というように、どのコースも将来につながる充実したプログラムで実施します。従来の修学旅行に比べて、より深く文化・自然を体験するとともに、現地で多くの人たちと交流することができます。

## 進路指導について

### Q 城東高校の進路指導について教えてください。

A 城東高校では、2人担任制をとっており、学期ごとの面接週間だけでなく必要に応じて繰り返し個人面談を行い、生徒一人ひとりに対し、きめ細やかに相談に対応しています。面談では個々の生徒の進路志望を大切にしつつ、不得意科目を克服し、目標を実現する方策を多くの資料を用いて探っていきます。そして、学生として社会人としてどのように生きていくかを考えながら、そのために今何をすればよいのか話し合います。

また、ロングホームルームでの大学(学部・学科)調べ、1年次での希望者による東京大学での研修、2年次での学類研修、各年次での高大連携事業による大学の講義の受講、社会人講師の招聘など、進路を考える機会を数多く設けています。さらに、TOEICテスト(国際コミュニケーション英語能力テスト)、GTECを校内でも受験でき、この得点を大学受験の際に生かすこともできます。難関大学志望者や小論文・口頭試問・プレゼンテーションなどが受験に必要な生徒には個別指導を継続的に行っています。定期考査後の補充学習や希望者対象の土曜講座などで、教科の内容を補うこともできます。

進路指導課では、年次ごとに「時計台」という進路だよりを月2~4回程度発行し、タイムリーな情報を提供しています。進路資料室には、多くの進路資料が備え付けられ、生徒が自由に閲覧できるようになっています。

またみなさんは、大学入試センター試験にかわって導入される新テスト(2021年1月より実施)を受験することになりますが、本校ではSGHの一環として課題研究に取り組み、思考力や表現力を培ってきました。今後は、それに加えて、さまざまな角度から新テストに向けた学びのサポート体制を整えていきます。

### Q 学類に定員はありますか？

A ありません。

